

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第120号 2026.6.8

平和だからこそこの日常



先週日本列島に上陸した台風6号は、各地で大雨による被害をもたらしました。そして4日(木)には、近畿地方が梅雨入りしたと発表がありました。梅雨入りの時期は、ほぼ平年並みだそうです。

春から夏へと季節が移っていく境目に、曇りや雨の日が多くなる季節が梅雨です。平年だと梅雨明けは7月19日です。雨の多い時期は気温が低くなることもあるので、服装選びに気をつけなければなりません。また、食中毒が多くなる時期でもあります。さまざまな面から、健康に気をつけて過ごしたいものです。

さて、81年前の1945年6月7日、旭区や都島区の地域が、大空襲に見舞われました。午前11時頃から1時間30分にわたり、アメリカ軍のB29が409機もやってきて、爆撃を受けました。そして、千人以上の方が尊い命をなくされたといわれています。

城北公園から淀川河川敷へ上がった所に、この空襲で犠牲になった方々を慰霊する「千人塚」があります。行ったことがある人も多いと思います。

これから暑い夏に向けて、戦争の悲惨さについて学ぶとともに、平和の尊さについて考える機会が多くあると思います。日本に住む私たちにとっては、とても大切なことです。

話は大きく変わります。今週11日(木)に、サッカーのワールドカップが開幕します。4年に1度開催される、世界最大級のスポーツイベントです。今回はカナダ、アメリカ、メキシコの3か国で共同開催され、日本を含む48か国が参加し、7月19日まで熱戦が繰り広げられます。

参加する国の中には、日本ととてもつながりの深い国もあれば、あまり聞かない国名もあります。ちなみに日本が予選グループで対戦する国は、オランダ、スウェーデン、チュニジアです。世界のさまざまな国について知ることができる、よい機会です。

一方では、今世界で争いごとが起こっている中で開催されるということで、さまざまなことが心配されています。こうした世界規模のイベントを楽しむことができるのも、私たちが毎日学校に通い、なかまと学び、スポーツや行事を楽しむことも、平和であればこそです。世界で大きなスポーツ大会が行なわれることをきっかけに、身近な日常のありがたさについて考えてみることも大切です。